

# 渋谷の新社会人に聞く「職業観」

## －「3人に2人が定年まで働きたい」新社会人の本音－

國學院大學(学長:赤井益久)では、初任給の使い道などについて新社会人となる本学4年生にアンケート調査を実施し124名から有効回答を得ました。主な調査結果・調査概要は下記のとおりです。

### ➤ 主な調査結果

- ◇ 就職する企業や組織で「定年まで働きたい」新社会人は全体の62.5%で、「定年まで働きたくない」16.4%を大きく上回る
- ◇ 定年まで働きたいと考える理由は、「入りたい会社・業界に就職するから」「生活を安定させたいから」が同率(43.1%)で1位。
- ◇ 定年まで働きたくないと考える理由は、「ライフステージの変化(結婚・育児・介護など)に応じて働き方を変えたい」が圧倒的に多い結果となった(70.6%)

### ➤ 調査概要

- ◇ 調査方法：学内者専用システムによるインターネットリサーチ(誤差：誤差値±0.17% 信頼度 95%)
- ◇ 有効回答数：今年度本学を卒業する大学4年生男女124名
- ◇ 調査日時：2015年3月3日(火)～3月18日(水)
- ◇ 調査機関：國學院大學

### ➤ 解説コメント(要旨)

#### 解説:宮下雄治(國學院大學経済学部准教授)

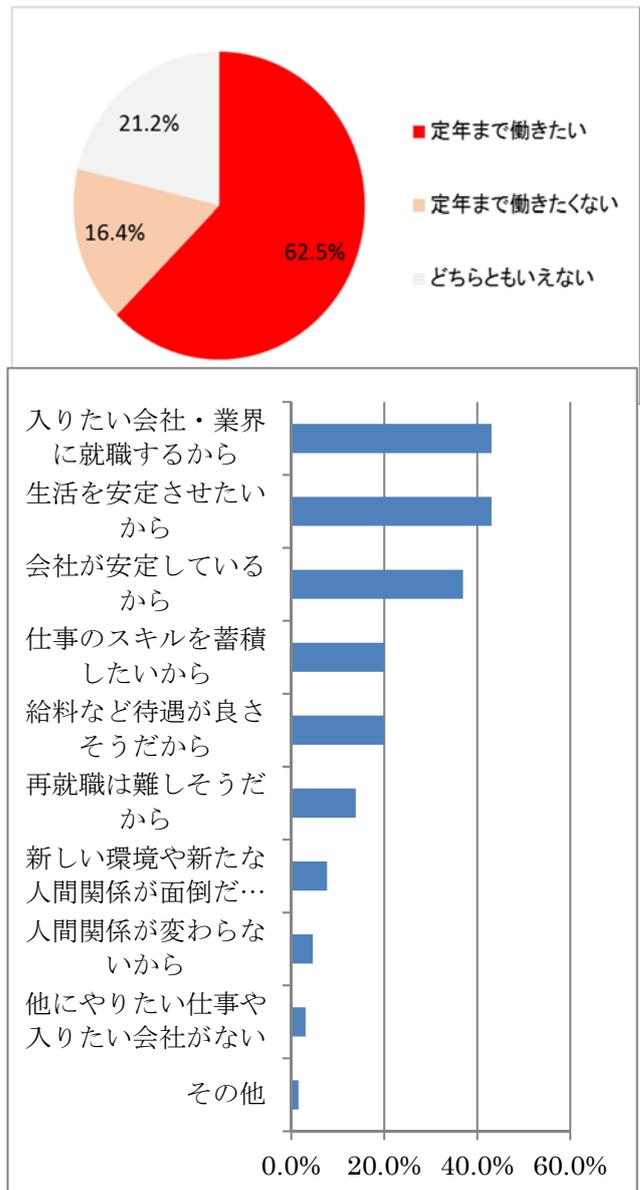
大学新卒者の早期離職の高さが指摘される中、新社会人の約3人に2人が「定年まで働きたい」と答え(「そう思う」31.7%、「どちらかといえばそう思う」30.8%)、「定年まで働きたくない」を大きく上回った。定年まで働きたいと考える理由は、「入りたい会社・業界に就職するから」「生活を安定させたいから」が同率一位で、「会社が安定しているから」が続き、就職事情が好転している傾向が表れているように思われる。ただし、「定年まで働きたい」と答えたうちの4人に1人が「再就職の難しさ」や「他にやりたい仕事や入りたい会社がない」、あるいは「新しい環境や人間関係が面倒」などのネガティブな感情を理由にしていることも無視できない。



**宮下雄治 國學院大學経済学部准教授** 専門:マーケティング論、消費分析

消費行動・購買心理に関する消費者調査、店頭プロモーションの効果分析、日本企業のマーケティング戦略に関する調査などに携わる

**調査データの無断転載・引用を防ぐため、詳細は個別に提供いたします。転載・引用をご希望の方、本調査に関するお問い合わせはこちらまで。**



■ 本件の転載・引用・取材等のお問い合わせ先 ■

國學院大學 総合企画部広報課 担当:高次(カツキ)

〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28

TEL:03-5466-0130

FAX:03-5466-0528

MAIL:kouho@kokugakuin.ac.jp